

Ⅱ 調査結果の概要

[学校調査・学校通信教育調査]

1 幼稚園

(1) 幼稚園数

- ・ 幼稚園数は 430 園（本園 426 園、分園 4 園）で、前年度に比べ 18 園減少した。
- ・ 設置者別にみると、国立 1 園、公立 226 園、私立 203 園となっている。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 2,278 学級で、前年度に比べ 141 学級減少した。
- ・ 1 学級当たりの園児数は 21.3 人で、前年度に比べ 0.4 人減少した。

(3) 園児数

- ・ 園児数は 48,597 人（男 24,557 人、女 24,040 人）で、前年度に比べ 3,869 人減少した。
- ・ 年齢別にみると、3 歳児が 15,291 人、4 歳児が 16,406 人、5 歳児が 16,900 人となっている。
- ・ 設置者別にみると、国立 102 人、公立 16,264 人、私立 32,231 人となっている。
- ・ 定員充足率は、公立幼稚園で 50.6%（前年度に比べ 3.0 ポイント低下）、私立幼稚園で 70.2%（同 1.3 ポイント低下）となっている。

図1 園数、園児数、教員数の推移

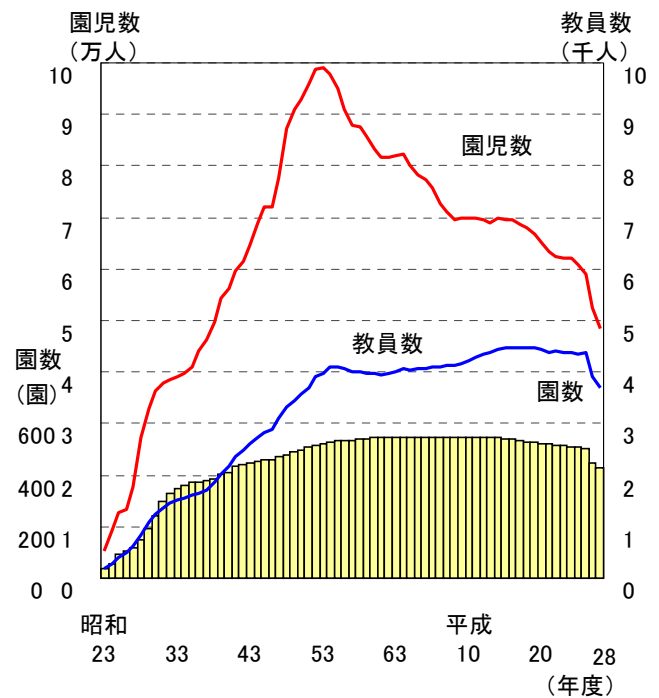
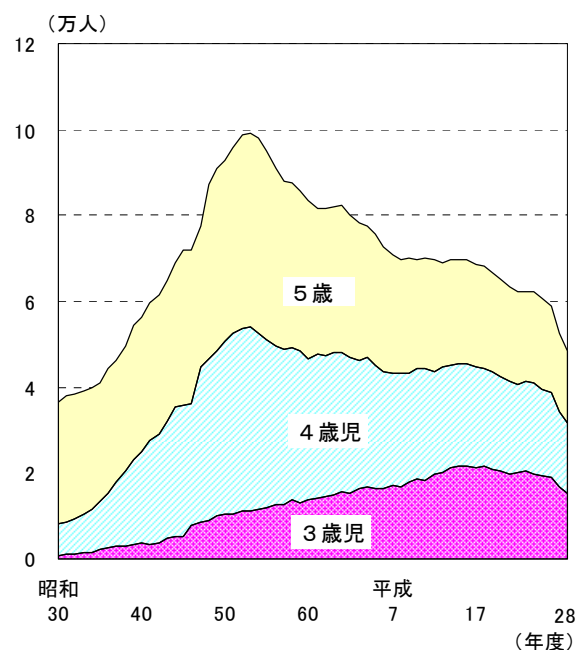


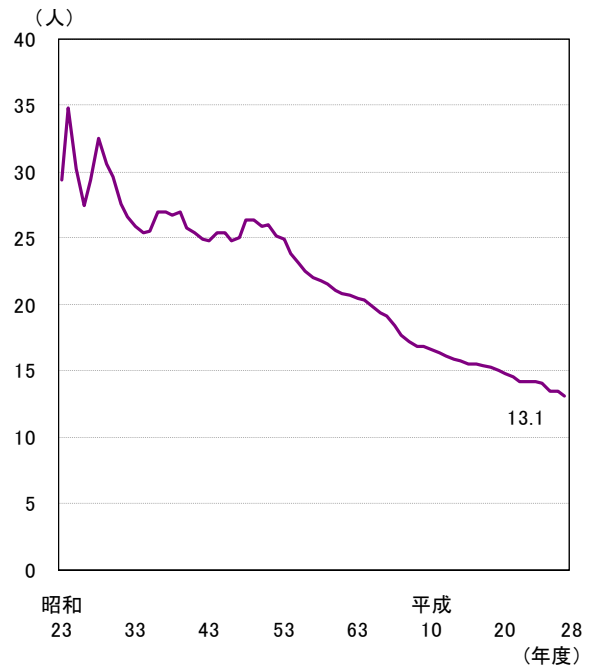
図2 園児数の推移（年齢別）



(4) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は3,706人（男210人、女3,496人）で、前年度に比べ212人減少した。
- ・ 女性教員の占める割合は94.3%で、前年度に比べ0.1ポイント上昇した。
- ・ 本務教員1人当たりの園児数は13.1人（全国13.4人）で、前年度に比べ0.3人減少した。設置者別にみると、公立幼稚園で11.4人、私立幼稚園で14.2人となっている。

図3 本務教員1人当たりの園児数の推移



2 幼保連携型認定こども園

(1) 幼保連携型認定こども園数

- ・ 幼保連携型認定こども園数は 134 園（本園のみ）で、前年度に比べ 24 園増加した。
- ・ 設置者別にみると、公立 69 園、私立 65 園となっている。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 705 学級で、前年度に比べ 145 学級増加した。
- ・ 1 学級当たりの園児数は 26.1 人で、前年度に比べ 1.3 人増加した。

(3) 園児数

- ・ 園児数は 18,400 人（男 9,531 人、女 8,869 人）で、前年度に比べ 4,507 人増加した。
- ・ 年齢別にみると、0 歳児 319 人、1 歳児 1,154 人、2 歳児 2,760 人、3 歳児 4,701 人、4 歳児 4,731 人、5 歳児 4,735 人となっている。
- ・ 在園者の満 3 歳以上の園児のうち教育標準時間認定の園児は 6,657 人、保育認定の園児は 7,510 人となっている。

表 1 園児数（3～5 歳・認定区分別）

	園児数			
	計	3歳	4歳	5歳
計	14,167	4,701	4,731	4,735
教育標準時間認定	6,657	2,220	2,185	2,252
満3歳以上・保育認定	7,510	2,481	2,546	2,483

- ・ 設置者別にみると、公立 6,918 人、私立 11,482 人となっている。
- ・ 定員充足率は、公立幼保連携型認定こども園で 83.3%（前年度に比べ 2.8 ポイント低下）、私立幼保連携型認定こども園で 90.2%（同 1.0 ポイント上昇）となっている。

(4) 教育・保育職員数

- ・ 教育・保育職員数（本務者）は 2,260 人（男 112 人、女 2,148 人）で、前年度に比べ 667 人増加した。
- ・ 女性教育・保育職員の占める割合は 95.0%で、前年度と同率であった。

- ・ 本務教育・保育職員 1 人当たりの園児数は 8.1 人（全国 6.9 人）で、前年度に比べ 0.6 人減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立幼保連携型認定こども園 8.7 人、私立幼保連携型認定こども園 7.9 人となっている。

3 小学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は514校（本校509校、分校5校）で、前年度と同数であった。設置者別にみると、国立2校、公立508校、私立4校となっている。
- ・ 特別支援学級（旧75条学級）を置く学校数は301校で、前年度に比べ2校増加した。

(2) 学級数

- ・ 学級数は7,575学級で、前年度に比べ2学級減少した。
- ・ 特別支援学級数は691学級で、前年度に比べ54学級増加し、全学級数に占める割合は9.1%となっている。複式学級は89学級で、前年度に比べ2学級増加した。
- ・ 1学級当たりの児童数は25.8人（全国23.9人）で、前年度に比べ0.3人減少した。

(3) 児童数

- ・ 児童数は195,265人（男99,937人、女95,328人）で、前年度に比べ2,159人減少した。
- ・ 設置者別にみると、国立1,027人、公立192,925人、私立1,313人となっている。
- ・ 第1学年の児童数に対する幼稚園修了者数の比率は56.9%（全国48.8%）、幼保連携型認定こども園修了者数の比率は11.2%（全国6.8%）であった。

図4 学校数、児童数、教員数の推移

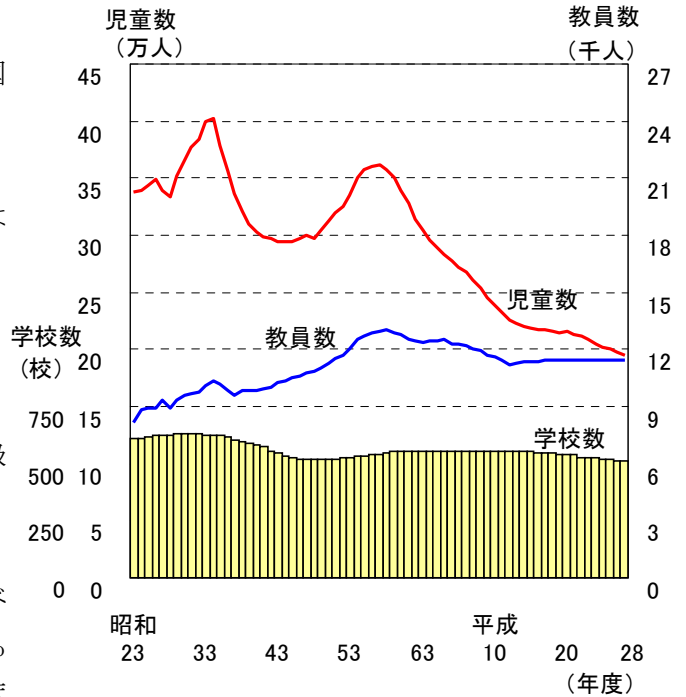
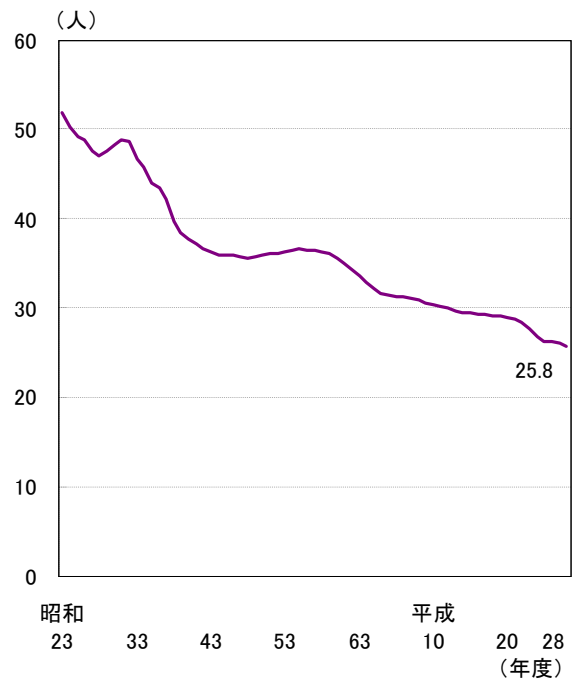


図5 1学級当たりの児童数の推移

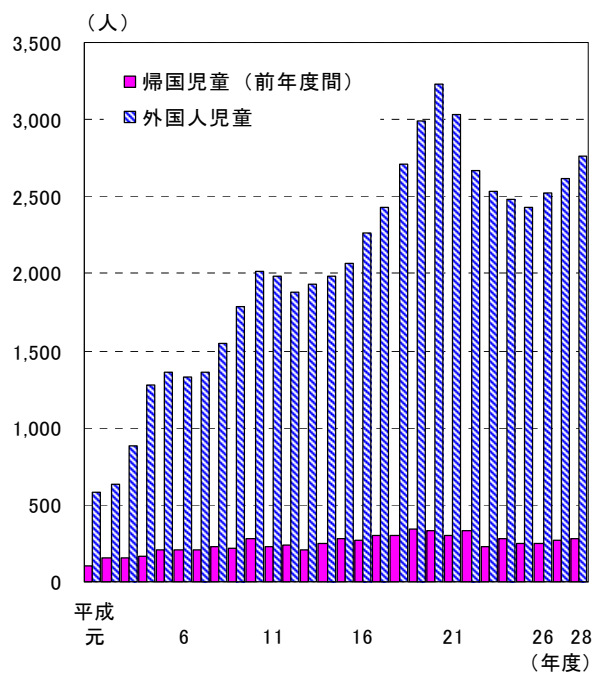


- ・平成27年度間の帰国児童数は277人で、前年度間に比べ5人増加した。
- ・外国人児童数は2,761人で、前年度に比べ142人増加した。全児童に占める割合は1.4%となっている。

(4) 教員数

- ・教員数（本務者）は11,438人（男4,644人、女6,794人）で、前年度に比べ29人増加した。
- ・女性教員の占める割合は59.4%（全国62.3%）で、前年度と同率であった。

図6 帰国児童、外国人児童数の推移



4 中学校

(1) 学校数

- 学校数は295校（本校294校、分校1校）で、前年度と同数であった。設置者別にみると、国立3校、公立264校、私立28校となっている。
- 特別支援学級を置く学校は171校で、前年度に比べ2校増加した。

(2) 学級数

- 学級数は3,677学級で、前年度に比べ3学級減少した。
- 特別支援学級数は369学級で、前年度に比べ20学級増加した。全学級数に占める割合は10.0%となっている。
- 1学級当たりの生徒数は28.2人（全国28.0人）で、前年度に比べ0.3人減少した。

(3) 生徒数

- 生徒数は103,594人（男53,262人、女50,332人）で、前年度に比べ1,357人減少した。
- 設置者別にみると、国立1,193人、公立97,272人、私立5,129人となっている。

図7 学校数、生徒数、教員数の推移

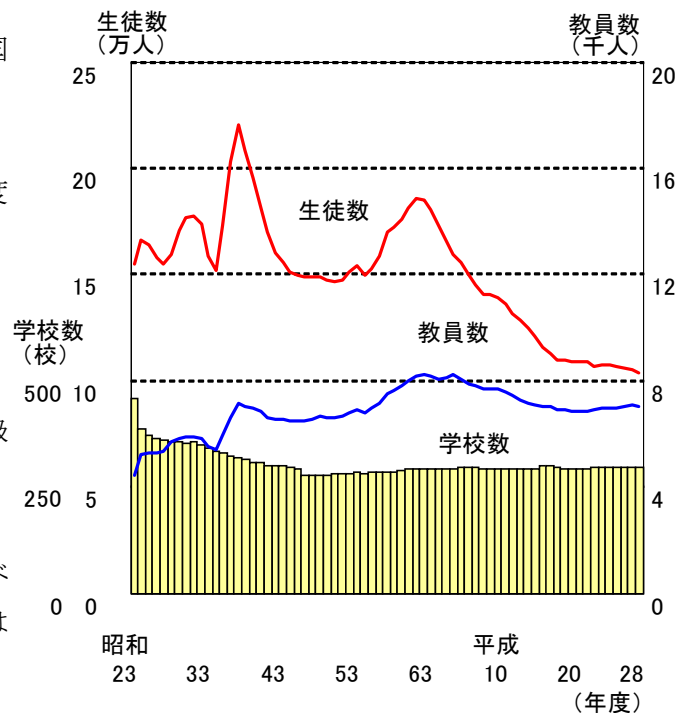
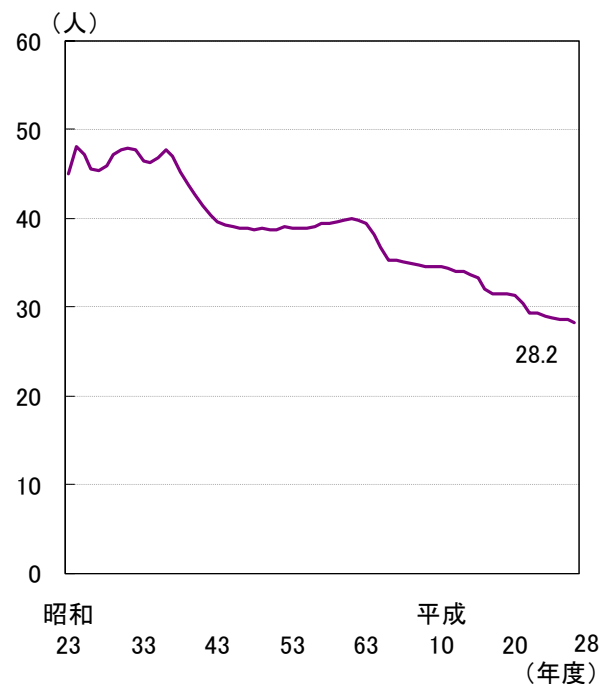


図8 1学級当たりの生徒数の推移

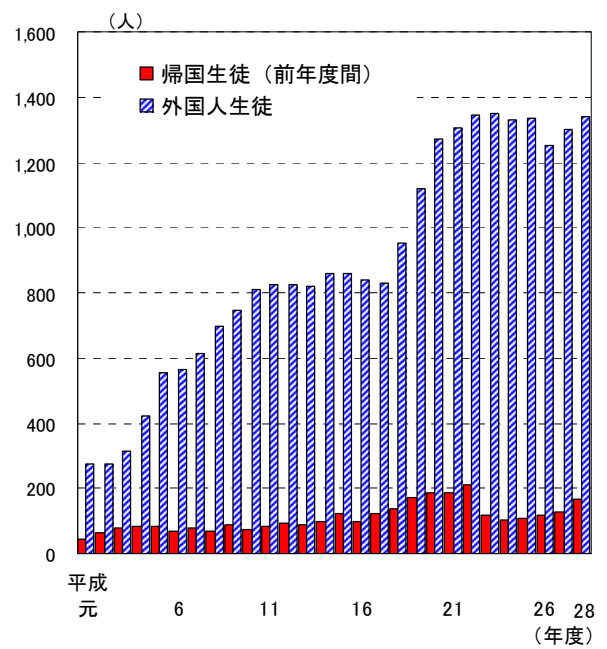


- ・平成27年度間の帰国生徒は165人で、前年度間に比べ39人増加した。
- ・外国人生徒数は1,339人で、前年度に比べ37人増加し、全生徒数に占める割合は1.3%となっている。

(4) 教員数

- ・教員数（本務者）は7,016人（男4,404人、女2,612人）で、前年度に比べ33人減少した。
- ・女性教員の占める割合は37.2%（全国43.0%）で、前年度に比べ0.5ポイント低下した。

図9 帰国生徒、外国人生徒数の推移



5 高等学校

(全日制・定時制)

(1) 学校数

- ・ 学校数は138校（本校135校、分校3校）で、前年度と同数であった。
- ・ 設置者別にみると、公立95校（本校92校、分校3校）、私立43校（本校のみ）となっている。
- ・ 課程別にみると、全日制課程のみを置く学校が117校、定時制課程のみを置く学校が2校、全日制・定時制の両課程を併置している学校が19校となっている。

(2) 小学科数

- ・ 小学科数（本科）は、全日制261学科、定時制21学科、計282学科となっている。
- ・ 学科別にみると、普通科が121学科で最も多く、次いで工業科57学科、商業科28学科、農業科20学科の順となっている。

* 小学科数は生徒が在籍している学科の数である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は100,664人（男51,728人、女48,936人）で、前年度に比べ128人増加した。
- ・ 設置者別にみると、公立68,456人、私立32,208人となっている。

図10 学校数、生徒数、教員数の推移

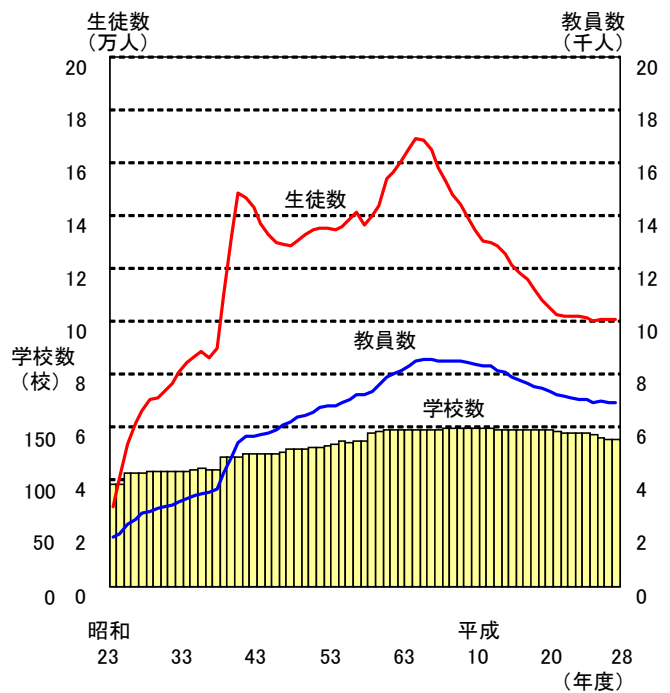


表2 学科別小学科数・生徒数（本科）

区分	小学科数	生徒数
普通科	121	68,116
農業科	20	2,360
工業科	57	7,559
商業科	28	8,529
水産科	4	591
家庭科	4	421
福祉科	6	721
総合学科	10	5,953
その他	32	6,385
計	282	100,635

- 全生徒数のうち本科の生徒数は 100,635 人で前年度に比べ 125 人増加した。
また、専攻科の生徒数は 29 人で、前年度に比べ 3 人増加した。

- 本科の生徒数のうち、全日制課程の生徒数は 97,615 人で、前年度に比べ 231 人増加し、全日制課程の生徒数の占める割合は 97.0%となっている。

- 本科の生徒数のうち、定時制課程の生徒数は 3,020 人で、前年度に比べ 106 人減少した。

- 本科の生徒数を学科別にみると、普通科が 68,116 人（全体の 67.7%）で最も多く、次いで商業科 8,529 人（同 8.5%）、工業科 7,559 人（同 7.5%）、総合学科 5,953 人（同 5.9%）の順となっている。

- 平成 27 年度間の帰国生徒数（本科）は 82 人（公立 60 人、私立 22 人）で、前年度間に比べ 24 人増加した。

- 外国人生徒数は、998 人（公立 709 人、私立 289 人）で、前年度に比べ 48 人増加した。

(4) 入学者数

- 本科の入学者数は 33,706 人（全日制課程 32,896 人、定時制課程 810 人）で、前年度に比べ 97 人減少した。

- 入学志願者に対する入学者の割合は、公立 91.2%、私立 34.4%となっている。

- 入学定員に対する入学者の割合は、公立 97.8%、私立 90.4%となっている。

図 1 1 学科別生徒数（本科）

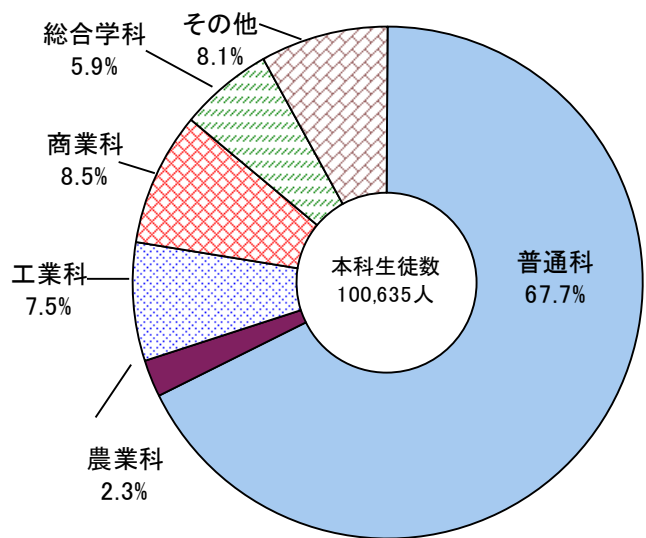
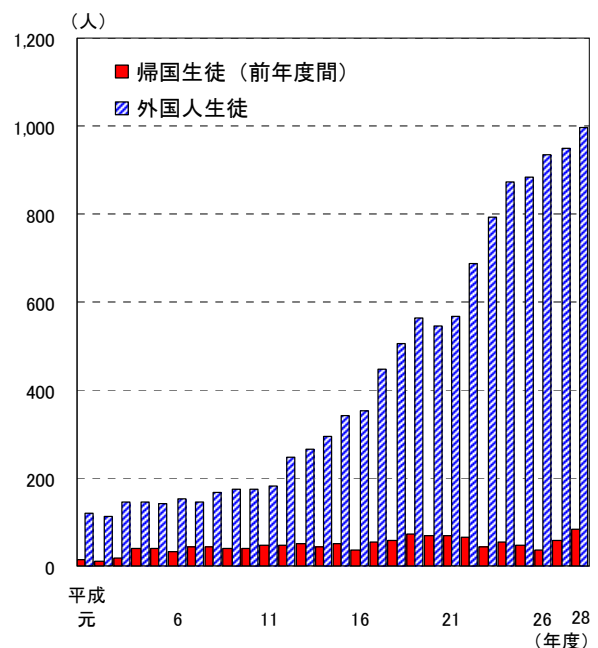


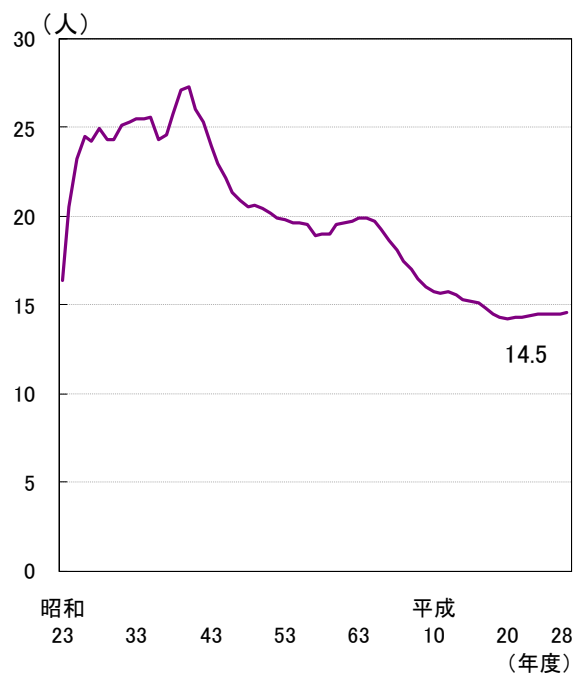
図 1 2 帰国生徒、外国人生徒数の推移



(5) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 6,924 人（男 4,934 人、女 1,990 人）で、前年度に比べ 17 人減少した。
- ・ 女性教員の占める割合は 28.7%（全国 31.6%）で、前年度に比べ 0.1 ポイント上昇した。
- ・ 本務教員 1 人当たりの生徒数は 14.5 人（全国 14.1 人）で、前年度と同数であった。

図 1 3 本務教員 1 人当たりの生徒数の推移



(通信制)

(1) 学校数

- ・ 学校数は 2 校（うち定時制と併置 1 校）で、前年度と同数であった。

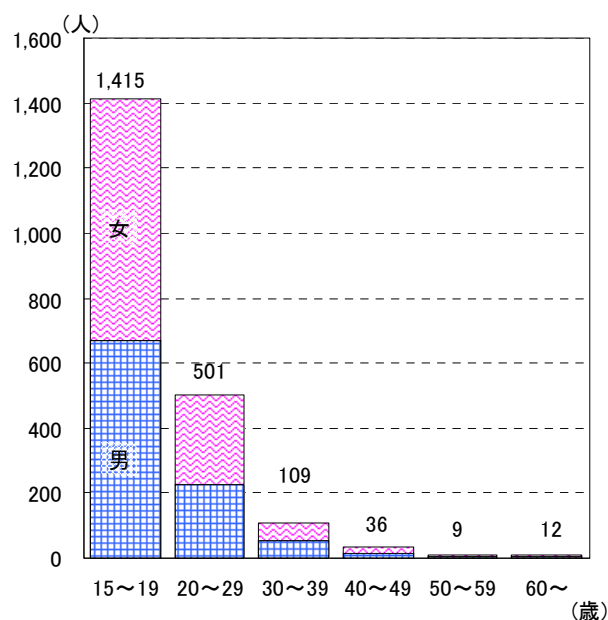
(2) 生徒数

- ・ 生徒数は 2,082 人（男 972 人、女 1,110 人）で、前年度に比べ 18 人増加した。
- ・ 年齢別にみると、10 歳代が全体の 68.0%で最も多く、20 歳代が 24.1%、30 歳代以上が 8.0%となっている。

(3) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 67 人で、前年度に比べ 6 人増加した。

図 1 4 年齢別生徒数



6 特別支援学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 39 校で、前年度と同数であった。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 1,213 学級で、前年度に比べ 24 学級増加した。

(3) 在学者数

- ・ 在学者数は 4,900 人で、前年度に比べ 32 人増加した。

【内訳】	・ 幼稚部	37 人
	・ 小学部	1,772 人
	・ 中学部	1,084 人
	・ 高等部	2,007 人

(4) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 2,749 人で、前年度に比べ 91 人増加した。

図 15 学校数、在学者数、教員数の推移

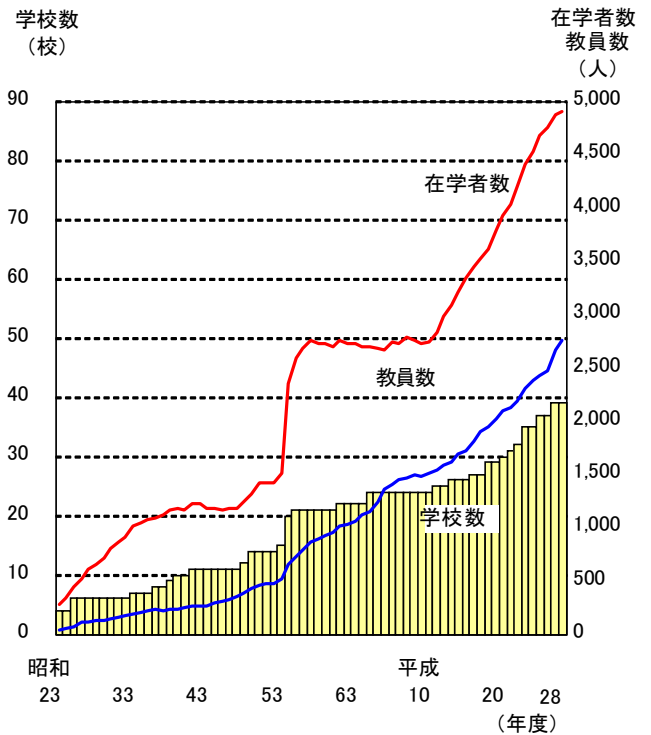
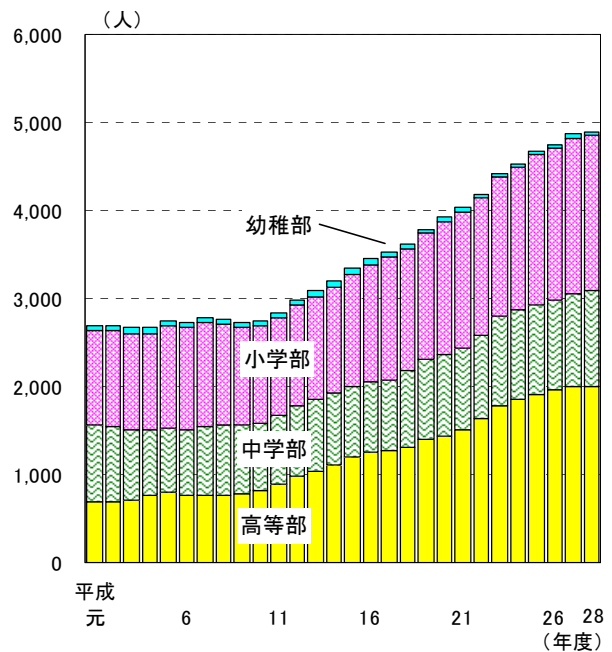


図 16 在学者数の推移



7 専修学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は93校で、前年度に比べ3校減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立10校、私立83校となっている。

(2) 学科数

- ・ 学科数は、高等課程19学科、専門課程214学科、一般課程6学科、計239学科となっている。
- ・ 分野別にみると、医療関係が47学科で最も多く、次いで、商業実務関係及び文化・教養関係43学科、工業関係37学科、衛生関係34学科、教育・社会福祉関係16学科の順となっている。
- ・ 修業年限別にみると、1年～1年11か月が34学科、2年～2年11か月が109学科、3年以上が96学科となっている。
- ・ 昼夜別にみると、昼の課程が231学科、夜及び昼夜の課程が8学科となっている。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は13,829人（高等課程1,324人、専門課程12,005人、一般課程500人）で、前年度に比べ24人減少した。
- ・ 全生徒数のうち、女子は7,806人で全体の56.4%を占めている。

図17 学校数、生徒数、教員数の推移

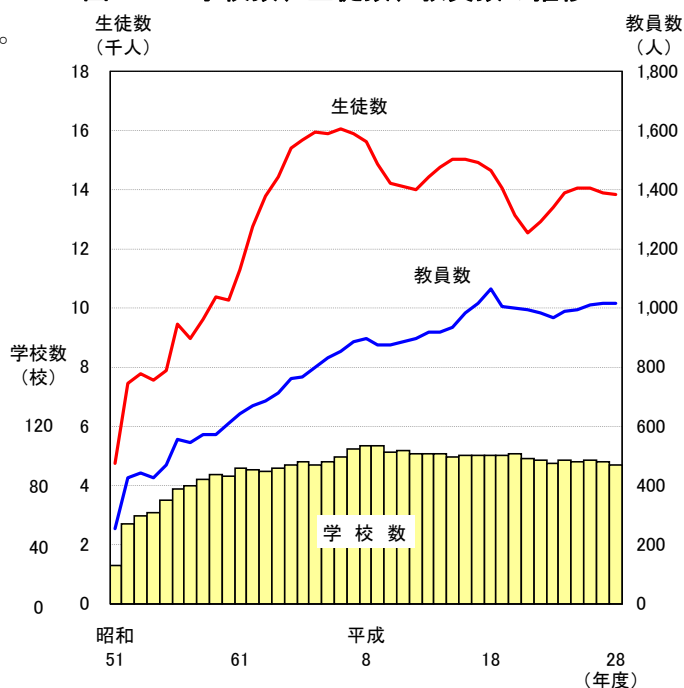


表3 分野別学科数・生徒数

区 分	学科数	生徒数
工 業	37	1,807
農 業	6	167
医 療	47	4,686
衛 生	34	1,565
教育・社会福祉	16	606
商業実務	43	2,214
服飾・家政	13	598
文化・教養	43	2,186
計	239	13,829

- ・ 学科別にみると、医療関係が最も多く 4,686 人で、次いで商業実務関係 2,214 人、文化・教養関係 2,186 人、工業関係 1,807 人、衛生関係 1,565 人の順となっている。

(4) 入学者数

- ・ 本年 4 月 1 日から 5 月 1 日までの入学者数は 6,294 人（高等課程 499 人、専門課程 5,311 人、一般課程 484 人）で、前年度間に比べ 75 人増加した。
- ・ 春期の入学定員に対する入学者の割合は、67.2%となっている。

(5) 卒業生数

- ・ 前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日までの卒業生は 5,586 人（高等課程 415 人、専門課程 4,678 人、一般課程 493 人）で、前年度間に比べ 57 人減少した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者 1,014 人（男 500 人、女 514 人）、兼務者 2,899 人（男 1,668 人、女 1,231 人）で、前年度に比べ本務者は 1 人減少し、兼務者は 137 人増加した。

図 18 学科別生徒数割合

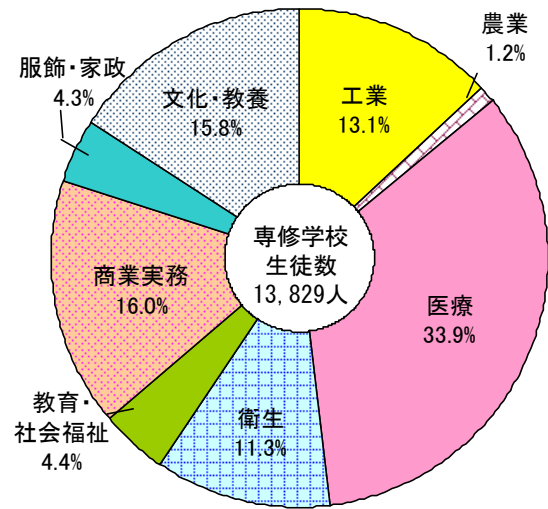


図 19 学科別生徒数の推移

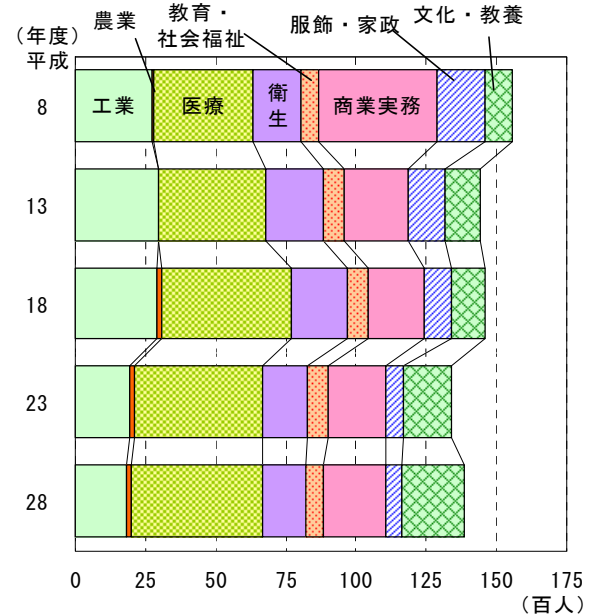
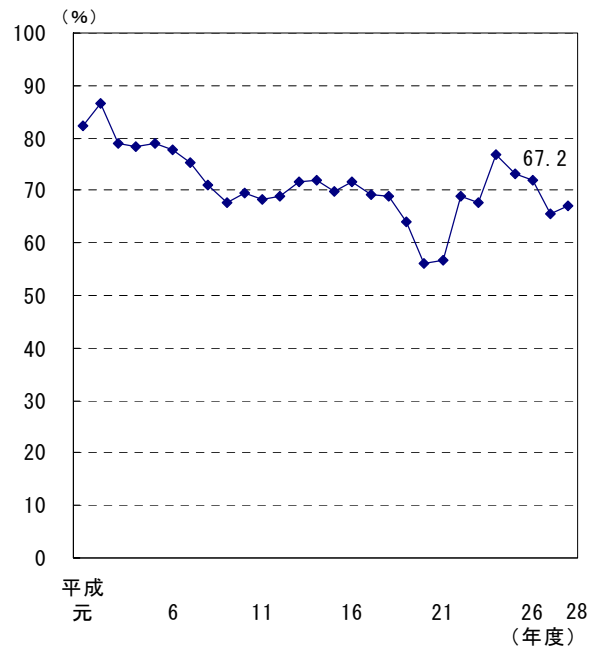


図 20 春期入学者の定員充足率の推移



8 各種学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は27校（私立のみ）で、前年度に比べ2校減少した。

(2) 課程数

- ・ 課程数は、衛生関係1課程、商業実務関係10課程、家政関係4課程、文化・教養関係6課程、その他12課程、計33課程である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は1,577人で、前年度に比べ31人増加した。最も多い学科は、文化・教養関係の464人（全体の29.4%）である。

(4) 入学者数

- ・ 本年4月1日から5月1日までの入学者は280人（男155人、女125人）で、前年度間に比べ58人減少した。

(5) 卒業者数

- ・ 前年4月1日から本年3月31日までの卒業者は364人（男203人、女161人）で、前年度間に比べ89人減少した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者101人（男34人、女67人）、兼務者85人（男16人、女69人）で、前年度に比べ本務者は1人減少し、兼務者は2人増加した。

図21 学校数、生徒数、教員数の推移

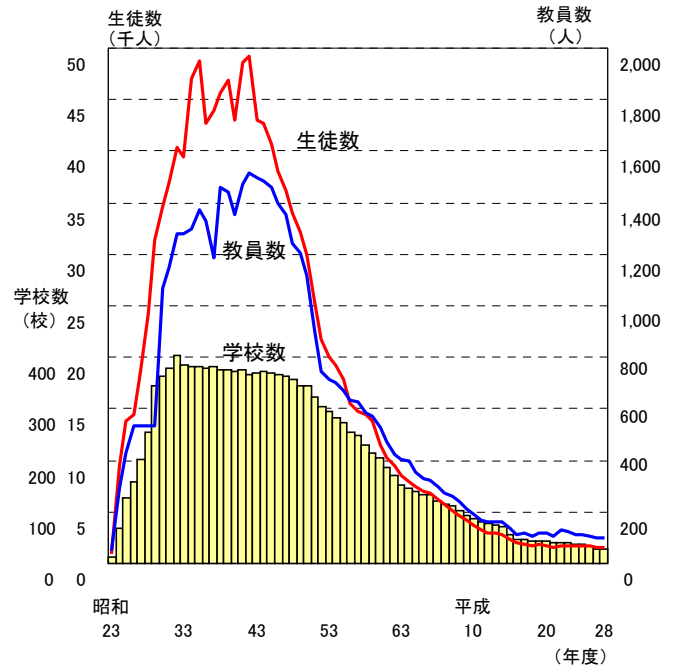
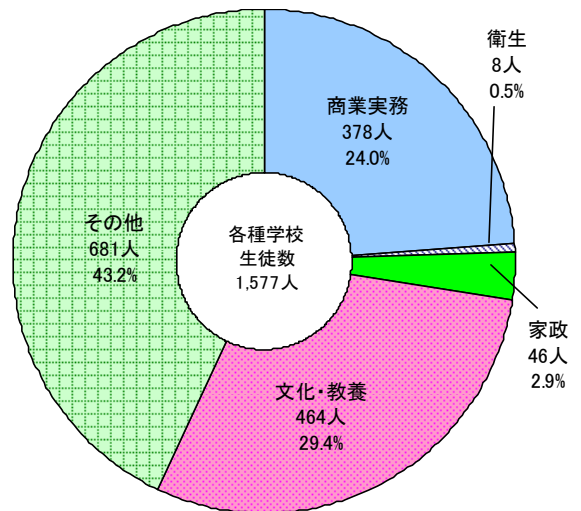


図22 学科別生徒数



[卒業後の状況調査]

1 中学校卒業後の状況

(1)進路別卒業生数

- ・平成28年3月の中学校卒業生数は35,245人（男18,162人、女17,083人）で、前年に比べ229人減少した。
- ・高等学校等進学者は34,752人（男17,856人、女16,896人）で、前年に比べ124人減少した。
- ・専修学校及び各種学校への進学・入学者は82人（男44人、女38人）で、前年に比べ1人減少した。
- ・公共職業能力開発施設等入学者は4人（男4人）で、前年に比べ8人減少した。
- ・就職者数は、153人（男117人、女36人）で、前年に比べ40人減少した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者20人（男17人、女3人）を含んでいる。

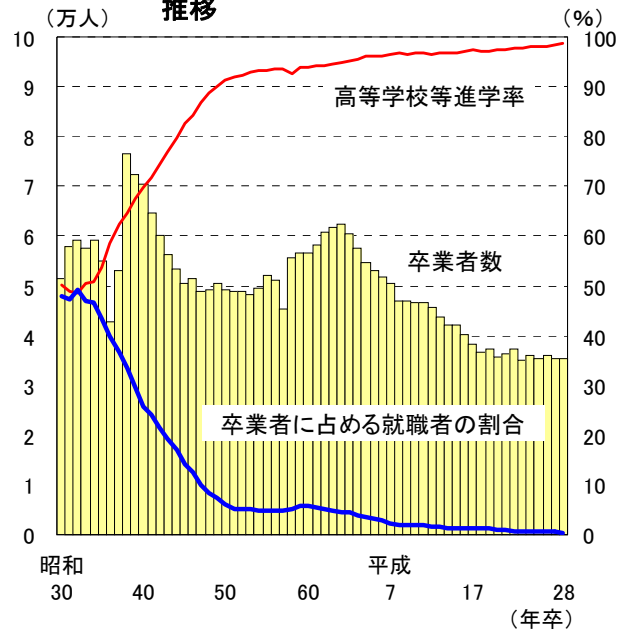
(2)高等学校等進学率

- ・高等学校等進学率は98.6%（全国98.7%）で、前年に比べ0.3ポイント上昇した。男子の進学率は98.3%、女子は98.9%で、前年に比べ男子は0.3ポイント、女子は0.2ポイントいずれも上昇した。

(3)卒業生に占める就職者の割合

- ・卒業生に占める就職者の割合は0.4%（全国0.3%）で、前年に比べ0.1ポイント低下した。

図2-3 中学校卒業生数、高等学校等進学率及び卒業生に占める就職者の割合の推移



2 高等学校卒業後の状況

(全日制・定時制)

(1) 進路別卒業生数

- 平成 28 年 3 月の高等学校卒業生数（全日制課程・定時制課程）は 32,058 人（男 16,132 人、女 15,926 人）で、前年に比べ 346 人減少した。
- 大学等進学者は 17,007 人（男 8,473 人、女 8,534 人）で、前年に比べ 443 人減少した。
- 専修学校（専門課程）進学者は 5,388 人（男 2,028 人、女 3,360 人）で、前年に比べ 92 人増加した。
- 専修学校（一般課程）等入学者は 1,105 人（男 681 人、女 424 人）で、前年に比べ 126 人増加した。
- 公共職業能力開発施設等入学者は 158 人（男 145 人、女 13 人）で、前年に比べ 2 人減少した。
- 就職者数は、7,111 人（男 4,107 人、女 3,004 人）で、前年に比べ 29 人減少した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者 3 人（女 3 人）を含んでいる。
- 就職者数のうち、正規の職員等は、7,071 人（男 4,090 人、女 2,981 人）、正規の職員等でない者は 40 人（男 17 人、女 23 人）であった。
- 大学等進学率は 53.1%（全国 54.9%）で、前年に比べ 0.8 ポイント低下した。男子の進学率は 52.5%（全国 52.4%）、女子は 53.6%（全国 57.3%）で、前年に比べ男子は 1.2 ポイント、女子は 0.5 ポイントいずれも低下した。

図 2 4 高等学校卒業生数、大学等進学率及び卒業生に占める就職者の割合の推移

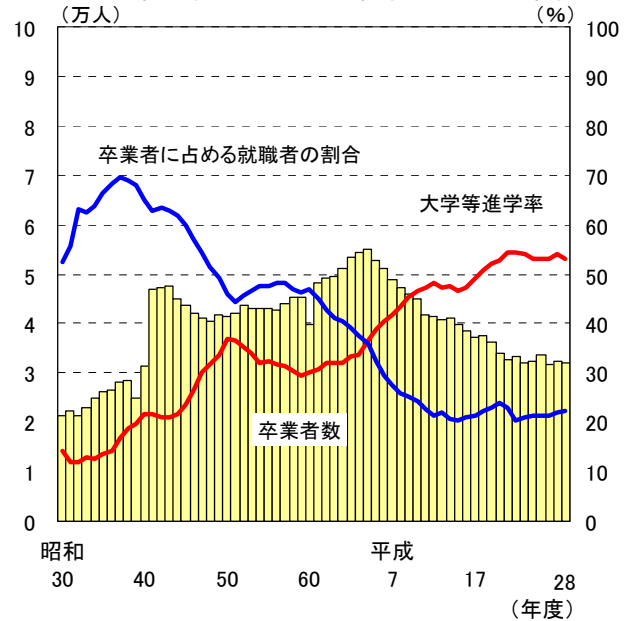


図 2 5 高等学校卒業生の進路別内訳

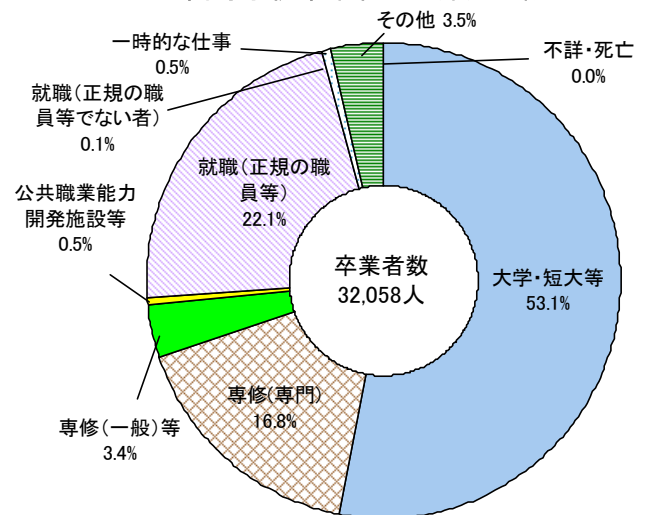
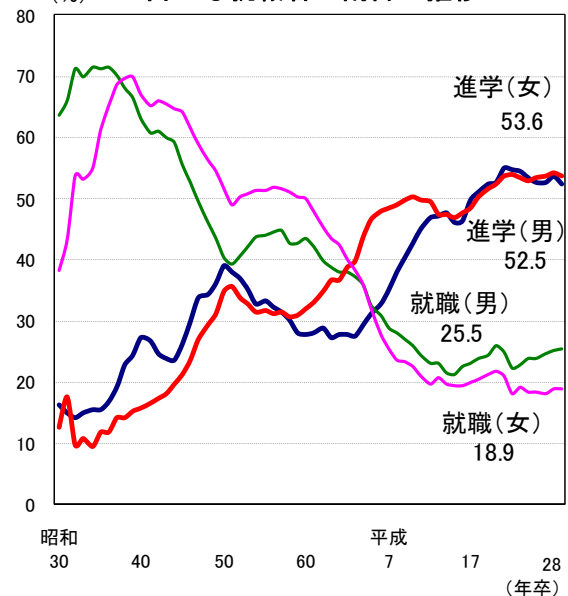


図 2 6 男女別大学等進学率、卒業生に占める就職者の割合の推移



(2) 大学等進学者及び大学等進学率

- 大学等進学者のうち、大学学部及び短期大学本科への進学者数は 16,983 人で、前年に比べ 438 人減少した。
- 大学学部への進学者数は 15,521 人（男 8,352 人、女 7,169 人）で、前年に比べ 401 人減少し、全卒業者に占める割合は 48.4%となっている。
- 短期大学本科への進学者数は 1,462 人（男 103 人、女 1,359 人）で、前年に比べ 37 人減少した。全卒業者に占める割合は 4.6%となっている。
- 男子の大学学部への進学率は 51.8%で、前年に比べ 1.2 ポイント低下した。一方、短期大学本科への進学率は 0.6%で、前年と同率であった。
- 女子の大学学部への進学率は 45.0%で、前年に比べ 0.1 ポイント低下した。一方、短期大学本科への進学率は 8.5%で、前年に比べ 0.4 ポイント低下した。

(3) 大学等への志願者数及び志願率

- 大学学部及び短期大学本科への志願者数（過年卒業者を除く）は 18,488 人（男 9,506 人、女 8,982 人）で、前年に比べ 368 人減少した。
- 大学学部への志願者数は 16,990 人（男 9,397 人、女 7,593 人）で、前年に比べ 323 人減少した。
- 短期大学本科への志願者数は 1,498 人（男 109 人、女 1,389 人）で、前年に比べ 45 人減少した。
- 大学学部及び短期大学本科への志願率は、それぞれ 53.0%、4.7%で、前年に比べ、大学は 0.4 ポイント、短期大学は 0.1 ポイントいずれも低下した。

図 27 男女別大学、短大進学率の推移

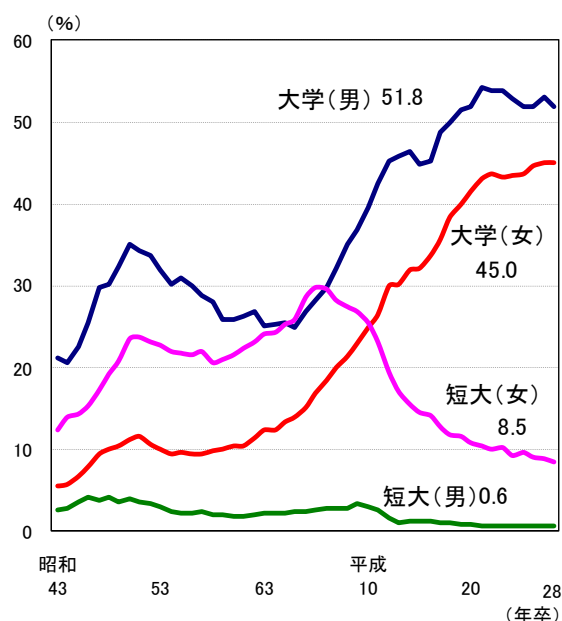
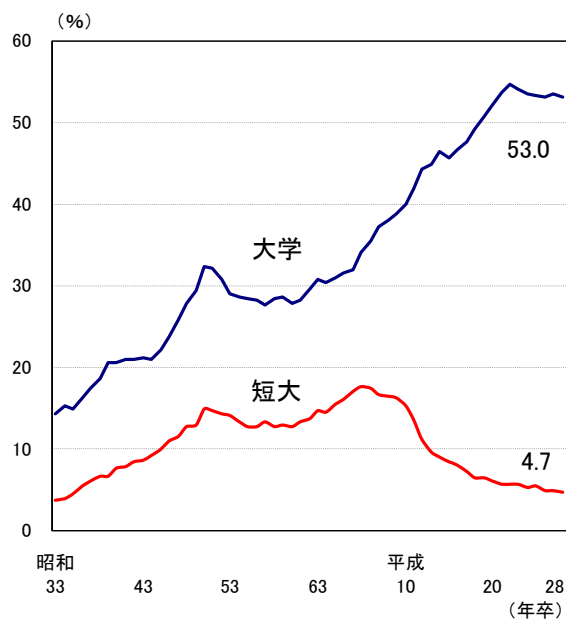


図 28 大学学部、短大本科への志願率の推移



(4) 就職者及び卒業者に占める就職者の割合

- ・ 卒業者に占める就職者の割合は 22.2%（男 25.5%、女 18.9%、全国 17.8%）で、前年に比べ 0.2 ポイント上昇した。
- ・ 就職者総数を産業別にみると、製造業が 3,541 人（全体の 49.8%）で最も多く、次いで卸売業・小売業 618 人（同 8.7%）、医療・福祉 475 人（同 6.7%）、建設業 418 人（同 5.9%）、宿泊業・飲食サービス業 378 人（同 5.3%）、生活関連サービス業・娯楽業 340 人（同 4.8%）の順となっている。
- ・ 職業別にみると、生産工程従事者が 3,532 人（全体の 49.7%）で最も多く、次いでサービス職業従事者 1,106 人（同 15.6%）、事務従事者 816 人（同 11.5%）、販売従事者 531 人（同 7.5%）の順となっている。
- ・ 就職者総数のうち、県外へ就職した者は 571 人（男 400 人、女 171 人）で就職者総数の 8.0%（全国 18.2%）を占め、前年に比べ 0.4 ポイント低下した。
- ・ 県外就職者の都道府県別就職先は、愛知県が 199 人、次いで東京都 171 人、神奈川県 95 人の順になっている。

図 29 産業別就職者の内訳

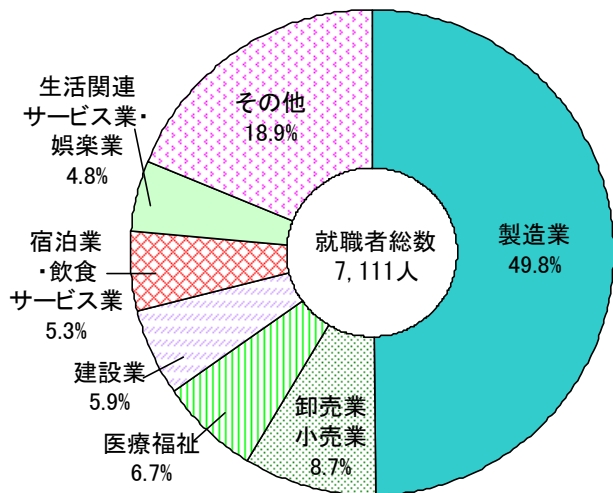
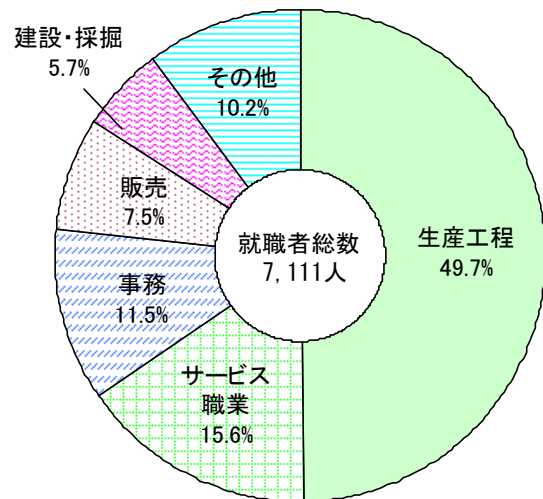


図 30 職業別就職者の内訳



(通信制)

- ・ 平成 27 年度間の卒業者数は 400 人（男 166 人、女 234 人）で、前年度間に比べ 57 人増加した。
- ・ 進路別にみると、大学等進学者が 63 人（全体の 15.8%）、専修学校（専門課程）進学者 76 人（同 19.0%）、専修学校（一般課程）等入学者 10 人（同 2.5%）、公共職業能力開発施設等入学者 3 人（同 0.8%）、進学・入学しながら就職した者 3 人を含む就職者 92 人（同 23.0%）となっている。

3 特別支援学校卒業後の状況

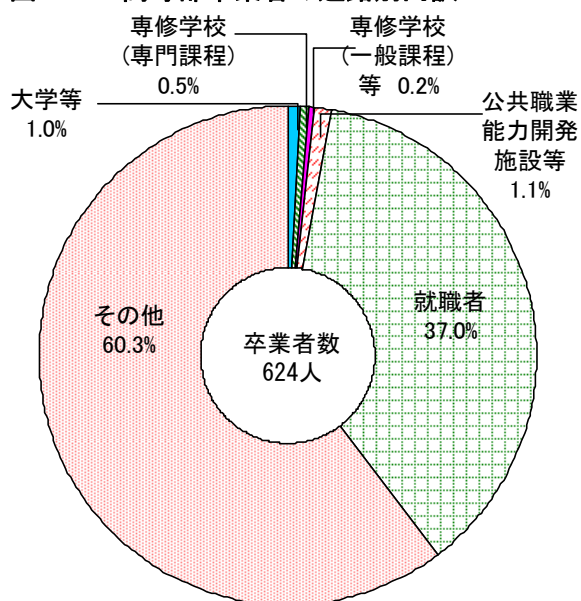
(1) 中学部の進路別卒業生数

- ・ 平成 28 年 3 月の中学部卒業生数は 336 人となっている。
- ・ 高等学校等進学者は 326 人で、高等学校等進学率は 97.0%となっている。

(2) 高等部の進路別卒業生数

- ・ 平成 28 年 3 月の高等部卒業生数は、624 人となっている。
- ・ 大学等進学者は 6 人で、大学等進学率は 1.0%となっている。
- ・ 就職者数は 231 人で、卒業生に占める就職者の割合は 37.0%となっている。

図 3 1 高等部卒業生の進路別内訳



[不就学学齡児童生徒調査]

1 就学免除者

- ・ 就学免除者は、学齡児童（6～11 歳）8 人、学齡生徒（12～14 歳）1 人の計 9 人で、前年度に比べ 5 人増加した。

2 就学猶予者

- ・ 就学猶予者は、学齡児童 31 人、学齡生徒 8 人の計 39 人で、前年度に比べ 5 人増加した。

3 1 年以上居住不明者

- ・ 1 年以上居所不明者は、学齡児童 1 人、学齡生徒 1 人の計 2 人で、前年度に比べ 1 人増加した。

4 学齡児童生徒死亡者

- ・ 平成 27 年度間に死亡した者は、学齡児童 11 人、学齡生徒 8 人の計 19 人で、前年度間に比べ 3 人増加した。

[学校施設調査]

1 学校建物面積

- ・ 公立学校の建物面積は 119,014 m²（設置者所有 119,014 m²、借用 0 m²）で、前年度に比べ 2,510 m²増加した。
- ・ 公立学校の設置者所有建物を構造別にみると、木造 5.4%、鉄筋コンクリート造が 61.3%、鉄骨造その他 33.3%となっている。
- ・ 私立学校の建物面積は 1,265,311 m²（設置者所有 1,248,301 m²、借用 17,010 m²）で、前年度に比べ 24,594 m²増加した。
- ・ 私立学校の設置者所有建物を構造別にみると、木造 2.6%、鉄筋コンクリート造 60.3%、鉄骨造その他 37.2%となっている。

2 学校土地面積

- ・ 公立学校の土地面積は、289,895 m²（設置者所有 249,003 m²、借地 40,892 m²）で、前年度に比べ 4,792 m²増加した。
- ・ 私立学校の土地面積は 3,279,206 m²（設置者所有 2,729,102 m²、借地 550,104 m²）で、前年度に比べ 46,443 m²増加した。